

医事課は、12名(常勤11名, 非常勤1名)。大部分の職員が、開院とともに新たに入職した。

業務は、次のとおり。係分けは行っておらず、1日平均7名体制でシフトにより各業務を毎日ローテーションして



▲受付 **◆院内は植物が** ふんだんに配 されている

医療法人社団 総合クリニック ドクターランド幕張 (千葉県千葉市) 診療科目数: 20科

ホームページ http://dr-land-makuhari.com/

▼総合クリニック ドクターランド幕張の運営母体である医療法人社団白報会は、2000年8月、当時としてはめずらしい在宅医療専門クリニック・尾久クリニックの開院とともにスタート。現在は、在宅医療に加え、外来医療・介護事業所まで計33施設を展開している。▼同法人は、総合病院並みの診療科を掲げる総合クリニックを「ドクターランド」と名付け、大型商業施設内などに開院している。「総合クリニック ドクターランド幕張」はその4番目の施設として、2013年12月、「イオンモール幕張新都心」内に開院した。▼同院では、ドクターランド最大の20科目を標榜。年中無休で、内科・リハビリテーション科・歯科については21時30分まで診療を行っている。 (取材:池田展一)

いる(一部業務を除く)。

- ・予約受付
- ・初再診受付
- ・会計入力・収納
- ・レセプト
- ・健診受付
- ・各種書類(労災, 自賠責, 生活保護など) (ローテーションなし)
- ・予防接種受付 (ローテーションなし) 等

年中無休で、午前9時半~午後9時半まで診療を行っているため、多くの診療所が休診している休日には東京都内や房総半島からも患者が多数受診する。

医事課では、細かく複数のシフトを 組むことで、長い診療時間に対応して いる。

商業施設のなかに医療機関が入るパターンとしては、単科診療所が複数入居する「医療モール」の形態が主流だが、同院は総合クリニックとして歯科を含む20科を標榜し、1 医療機関内で複数科受診できることを強みとしている。「クリニックで医科・歯科両方を標榜しているところはめずらしいのではないでしょうか。その分、医事課職員には幅広い知識が要求されます」(坂本祐子ブロック長)

待ち時間が発生する場合には患者に 大まかな時間・人数を告げたうえで外



▲医事課の様子

出を許可しているため、待ち時間を利用して買い物を楽しむ患者も多い。

毎月1日からのレセプト業務は、診療科ごとに分け、その日出勤している職員全員で分担して行う。

診療科による件数のバラつきがあるため、人数配分を調整して、なるべく残業が発生しないように工夫している。また、電子カルテのチェック機能は活用しているが、算定スキルを向上させる狙いから、レセプトチェックソフトは使用せず、すべて職員の目で点検している。

在宅医療を行っている患者については、外来分もまとめて月1回の請求となるため、在宅患者が外来に来た際に

栗原正之さん 1年目

当院には、昨年12月の開院と同時に 入職しました。大学時代に救急外来でア ルバイトしたことが、医療事務の世界に 入るきっかけになりました。以前の職場 では、医療事務のほか、介護福祉士とし ての勤務経験もあります。



当院は商業施設内という特殊な立地なので、普通のお店に来る感覚の延長上で来院される方も多いため、接遇には特に注力しています。ここでは、「お客様」として接する姿勢が必要です。

仕事が落ち着いたら趣味のロードバイクを再開したいですね。

【総合クリニック ドクターランド幕張 DATA】

◆開設年月日:

2013 (平成 25) 年 12 月



▲クリニック入口

二重請求などの誤りが起こらないよう, 在宅部との患者情報の共有は綿密に行っている。

職員の評価は、一般的事項から専門的スキルに至るまでポイント化され、ポジションや給与に反映される。

年3回の面談(定期昇給時, 賞与支給時)では、前回値や平均値との比較などをもとに、上司からのアドバイスが伝えられる。

開院にまつわる苦労話 自報会グループブロック長 坂本祐子さん ドクターランド幕張事務長 奥村永さん

開院準備にあたっては、商業施設な らではの苦労がありました。

例えば、備品の搬入です。搬入ルートに細かい規則・手続きが定められており、手元に届くまでに時間がかかってしまうのです。また、深夜の準備作業が行えないなど時間制限もきびしく、スケジュールの調整に難渋しました。

開院1週間前からは、電子カルテの 業者さんにも来てもらい、スタッフ全員 で研修を行いました。様々な患者さん が来院したケースを想定し、受付から



▲広々としたリハビリテーション室

請求まで一連の流れのシミュレーションを繰り返し行い、開院に備えました。

さんなことやってます

充実の医療機器

同院には、1.5 テスラ MRI、16 列マルチスラ イス CT、マンモグラフィーなど高度な医療機器

が導入されており、診療だけでなく健 診やドックでも活用している。また、 今後はオープン施設として近隣医療機 関にこれらの機器を開放する予定もあ るそうだ。

イベント開催時の医療サポート

総合コンベンション施設や球場など 大勢が集まる巨大施設が多い幕張とい う土地柄、周辺では大きなイベントが 頻繁に開催される。同院では、イベン トで具合が悪くなったり怪我をした人 の応急処置を行うこともあり、そのた めの緊急処置室も用意されている。

多様な職員交流

全グループによる忘年会が毎年開催され、豪華景品が当たるビンゴゲームや理事長とのじゃんけん大会などで、大変な盛り上がりをみせる。そのほかにも、ゴルフコンペやボウリング大会など、グループ全体でのレクリエーションが年数回開催され、900名を超える職員の貴重な交流の場となっている。



在宅患者向けの冊子

在宅医療を行う患者向けに、理事長自らが執筆した冊子を発行している。 在宅医療の仕組みや内容、

☆取材先募集☆

「医事課にお邪魔」にご登場いた だける医療機関を募集しておりま す。連絡先は下記へお願いします。

電話 03-3512-0253 (佐伯)Eメール it@igakutushin.co.jp



▲小児科の待合はキッズルームを兼ねている

負担金などについて、全48ページに わたりわかりやすく解説されている。

ドクターランドのイメージカラー

茶とオレンジをイメージカラーとし、 医事課職員や看護師の制服に大胆に取り入れている。内装も「スローリゾートホテル」をコンセプトにデザインされるなど、"いかにも医療機関"という雰囲気にならない工夫が施されている。

▼在宅患者に配布されている冊子『我が家に 医療がやってきた』



池田香緒里さん 1年目

私も昨年12月の入職です。医科・歯科両方の医療機関で勤務経験がありますが、どちらかというと小規模な施設が多かったので、当院に入職して初めてかかわるようになった診療科がたくさんあります。算定などで覚えなければいけない



事項が多く大変ですが、スキルアップの チャンスと捉え、知識習得に励みたいと 考えています。

旅行が大好きで、今年の夏休みは伊勢神宮へ一人旅しました。一人旅の楽しさに目覚めてしまったので、またチャレンジしたいと思っています。